

私たちは冷静な時というのは正しい行動を取ることは簡単です。しかし冷静でなくなると普段とは違った判断をするようになります。私たちにはバイオリジカルモーションというものが備わっています。それは行動の一部分をみて、その人はどのような状態なのかを感じることができる能力です。特に女性は脳の構造によって、右脳で感じたことを左脳に伝える能力が高くてきているので、そこから感じたことが自分の言動に大きく影響を与えていきます。また私たちは自分の過去の経験に基づいて私たちの目に入ってくる現実を瞬時に判断します。ですから、私たちがどのように歩んできたのかによって現在の判断が変わってくるのです。それは隣人に対しても同様です。隣人の言動によってあの人は〇〇な人だと勝手に判断しています。それよりも重要なことは、その人がなぜその行動をしてしまうのかということなのです。それをしていけば、その人の本当の姿が見えてきます。あくまで統計上の計算ですが、人生の成功の秘訣の86%は人間関係とされています。人の努力というのは2%程度とされています。私たちは人生の中で自分の役目を果たしていくためにこの感情をコントロール（支配下）できているのでしょうか。それとも感情に支配されているのでしょうか。これが間違っていると人間関係においても正しい判断をすることができなくなります。すなわち私たちの人生においても成功することは難しいところを歩むこととなります。神さまは人を創造した時から感情を備えられました。感情はとても素晴らしいものです。しかし制御不能となってしまうととても危険です。私たちは自分を制御できているのでしょうか。私たちはクリスチャンとしてイエス様のようになりたいと思っています。しかし感情に支配されている限り、その歩みにはなっていません。イエス様は感情を支配した人生でした。聖書には同様に自分の感情を制御した人の歴史が書かれています。しかし感情に支配されてしまっている、進むべき道を見失っていると人は過去の経験から形作られた像を作り、安心を得ようとしてしまいます。ですから感情とはどのようなものなのでしょうか。①感情は神様と良い方向に導くものです。私たちの感情は私たちを良い方向へ導いているのでしょうか。それとも悪い方向へ導いているのでしょうか。感情に支配されている人は悪い方向へ導かれている人が多いです。私たちの人生の1番大切な時に1番悪い決断をしてしまうのは感情に支配されているからです。悪い感情による行動の多くは逆ギレ、開き直りなどです。それは悪いものと考えていますから感情を悪いものだと認識してしまっているのです。ですから感情的になってしまう自分自身が嫌いです。劣等感を感じている人は自分の感情が悪いものだと思っているからです。感情は両側面があります。良く用いるのか悪く用いるのかです。良く用いれば自分を通して正しい決断ができます。しかし悪く用いれば隣人を傷つけてしまいます。人や自分を傷つけて生きていくのは神が創造された形ではありません。感情は私たちを良い方向へと導くものであることを覚えましょう。目の前に起こることに右往左往されるものではありません。私たちが神に創造された姿に戻るために感情があります。これが大切です。私たちが神さまから託されている役目を果たし続けていくために感情があるのです。②キリストに留まる。墮落により感情はあなたを支配する。とありますが、感情に支配されると私たちをキリストから遠ざけてしまいます。隣人からアドバイスされても聴くことができません。私たちは神さまにあって今この場で何ができるのかということです。明日から、次からするではありません。私たちは墮落によって感情を悪い方へ導く道具にしてしまいました。目的と目標を持っているのでしょうか。それは間違っていないのでしょうか。正しい答えはイエス様と歩みさえできればできるのです。また私たちは相手から先に謝罪をされたとしても赦すことができないことはないのでしょうか。キリストの留まっていればそれもできます。キリストの生涯はすべて隣人のための行動でした。怒っても悲しんでも喜んですべては隣人のためでした。究極的なものとして十字架があります。ご自身のいのちさえおしまずに差し出していきました。自分のためにしようとする人は成し遂げることはできません。私たちは自分自身を支配しなければ神の役目を果たすことができません。私たちがキリストに似たものになっていくと罪を犯さなくなります。罪とはどのようなものなのでしょうか。それは感情をどのようにコントロールするのかです。例えば怒ることがあっても、相手のために感じたことを伝えることは罪にはなりません。しかし自分を守るために怒るのであれば、罪に陥る可能性が高くなります。相手を傷つけるためにしてしまうことも同様です。私たちは感情をコントロールして相手を愛すれば問題がなくなります。そのために私たちはキリストの身丈に成長していかなければいけないのです。しかし私たちは神さまの姿を現実には置き換えることはできません。なぜなら神は偉大な方で被造物では表しきることはできません。私たちは聖書に書かれているキリストの姿を思い出しながら、完成させていくしかないので、③テレオス…完成 目的を… 私たちは完全に大人になって「テレオス」完成ということです。私たちはまだ発展途上です。キリストのようになっていく、完全に大人になっていく、完成していくことを切に求めています。私たちは毎日毎日キリストのように完全に大人になることを目指していかなければいけないのです。教会にきて、自分を見つめ、足りないところを補い合っていく中で徐々に築き上げられていくのです。今まで生きてきた中で、私たちは間違ってしまった部分を直しているだけです。私たちには希望があるのです。キリストにあって完成に向けて進むことができます。今まで、間違っていると指摘されたら自分はだめだと劣等感に結びついてきたことが主において希望になります。そこが良くなるからです。ですから私たちはどのような現実に対しても動揺することなく、右往左往することもなくなります。私たちの心に神さまが住みたいと思わせるほどに完成させていきましょう。私たちの心に開かずの間のような締め切った暗闇のような部分はないのでしょうか。私たちが神にあって目的をもっていけば、完成へと近づいていきます。目的を果たしていくためにはどうしてもそれがが必要です。それを持っていれば感情に流れることはありません。私たちはイエス様と共に歩み感情を正しく用いていく人生にしていきたいと思います。(要約者：平澤 一浩)